

●三位一体後第七主日

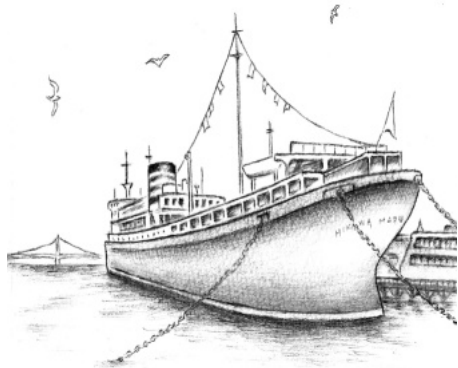
泉のほとり

今月の詩編「第百二十六編」

主よ、わたしたちのために

大きな業を成し遂げてください。

わたしたちは喜び祝うでしょう。



自分を尊敬できる人

箴言20章27節は「人間の息（魂または霊）は主の
としび、腹の奥を探る」と語ります。ある翻訳では
「主のとしびは人の霊であり、体のすべての部屋を照
らす」と、人の内面の深い部分を照らす「神の霊＝良心」
の働きが強調されています。

年齢を重ねるにつれ納得できる人生を送りたいと願う
ようになりました。もちろん人格的に自身を尊敬できれ
ば素晴らしいですが、節制して健康面を整えただけでも
自分なりの満足感が得られます。欲望と理性の間での葛
藤があり、理性で欲望を乗り越えたら清々しい気持ちに
なるのです。

よく「心の中には天使と悪魔がいる」と言われますが、
実際には「目先の欲望」と「長期的な損得」の間の選択
に過ぎない場合が多くあります。猿やイルカですら短期
的な欲求と群れ全体の利益の板挟みに悩むことがあるそ
うです。しかし人間にはもう一つ、損得では説明しきれ
ない「正しく生きたい」という願いがあります。

たとえば、子どもを亡くした親が「悲しみを嘆き続け
たい」と思いつつも「しっかりとしなければ」と自分を奮
い立たせる場面があります。この「正しく振る舞おう」
とする心は本能ではありません。それは神から与えられ
た正しさを求める心、つまり聖霊の働きとしての良心で
す。

良心に従った選択は、たとえ損をしても、私たちに静
かな喜びと尊厳を与えてくれます。逆に良心を押し殺し
続けると、人は自分自身に対する尊敬を失い、やがては
自己破壊的な行動に向かいます。

不正を繰り返して金銭的に利益を得ていた人がいま
した。それが露見した時に、その人は謝罪せずに「逆
ギレ」して、それまでの全ての人間関係を壊してしま
いました。人を攻撃することで、恥ずかしいという思
いを更に誤魔化したのです。欲がはらんで罪を産み、
罪が熟して滅びに至る、負のスパイラルに陥っていた
のです。

しかし逆ギレして誤魔化すという態度の裏には、明ら
かになつた自分の罪が自分でも厭だと感じる思いがあ
ります。その人の心には「本来の尊い自分を取り戻し
たい」という痛みが残っているのです。

どれほど道を踏み外しても、良心が疼いているのな
ら聖霊は私たちを見捨てていなかったことがわかりま
す。悔い改めても他人からの信頼を回復できるとは限
りません。しかし「自分で自分に納得できる生き方」
に立ち戻ることは誰にでも可能です。

良心に従うとは「神の灯」に自らを照らしていただ
くことです。人間には、本能とは別に神から与えられ
た「霊」があり、その霊が私たちの心の奥底を探り、
悔い改めと回復の道を拓いています。だから私たちは
罪から赦され、神の前に立ち直ることができるのです。

良心の呵責を感じた時、自分を責める必要はありま
せん。ただ立ち帰れば良いのです。損をしても恥をか
いても、良心に従うことが出来れば私たちは清々しい
思いになります。神が「あなたの信仰があなたを救つ
た」と言ってくださっているからです。良心の導きに
従って、尊厳をもつて生きましょう。

（箴言二〇章二七節 北川 一明 牧師

日本基督教団平塚教会）

2025年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○今日の礼拝後には、全体での集会はありません。

○四日(月)、五日(火)に夏季バイブルスクールを行います。

また、十一日(月)は通読会を行う予定です。

詳細を記載しましたので、ご確認の上、どうぞご参加ください。

《ぶどうの会より》

礼拝後、花嫁控室(2階)でぶどうの会を行います。

《バイブルスクールの予定》

○「旧・新約聖書の連続性、霊の一致」

八月四日 月曜午前10時から午後四時

(昼休憩あり)

夜間講座

八月四日 月曜午後七時から

八月五日 火曜午後七時から

○「フィリピの信徒への手紙(通読)」

八月十一日 月曜午前10時から午後三時

(昼休憩あり)

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇百二十六篇】 都に上る歌。

主がシオンの捕われ人を連れ帰られると聞いて

わたしたちは夢を見ている人のようになった。

そのときには、わたしたちの口に笑いが

舌に喜びの歌が満ちるであろう。

そのときには、国々も言うであろう

「主はこの人々に、

大きな業を成し遂げられた」と。

主よ、わたしたちのために

大きな業を成し遂げてください。

わたしたちは喜び祝うでしょう。

主よ、ネゲブに川の流れを導くかのように

わたしたちの捕われ人を

連れ帰ってください。

涙と共に種を蒔く人は

喜びの歌と共に刈り入れる。

種の袋を背負い、泣きながら出て行った人は

〔司・会〕

束ねた穂を背負い

喜びの歌をうたいながら帰ってくる。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「神の恵みに生かされて」

聖書 使徒14章8～16節

説教者 吉村 和雄 名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「神の前を生きるダビデ」

聖書 サムエル記下6章12～22節

説教者 宮間 彰広 兄

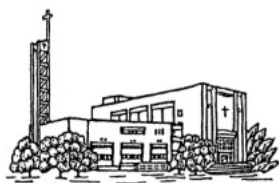
●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 70番 284番

説教 「言われた通りにするだけで」

聖書 列王記下5章1～14節

説教者 黄允湜 牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 28番 276番
説教 「聖霊に逆らう者、満たされる者」
聖書 使徒7章51～60節(新約P.227)
司式 石川 一兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 宮間 彰広 兄

前奏曲「まこともて主を言い表す者をば」
(カンタータ45番よりアルトのARIA) J.S.バッハ

○讃美歌28番

1. わが霊 たたえよ
大地はひかりに 目さめぬ
あけぼのうらわし
くすしきみ業をほめまつれ
2. くらきは過ぎさり
朝日はうららに 射しきぬ
わが霊 めさめて
日毎のつとめに はげめかし
3. ただしきわざをば
さきわいたまえや この日も
罪よりきよめて
あらわしたまえや みさかえを
4. みこえにしたがい
み顔のひかりを もとめよ
みたまにみたされ
生命のみちをば すすみゆけ アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

○讃美歌276番

1. ひかりとやみとの ゆきかうちまた
いずれのかたにか つくべきわが身
燃えたついのちを みまえにささげ
今しも行かばや まことの道を
2. ほまれとさかえを うくるはたれぞ
ときわのかむりを うくるはたれぞ
義を見ていさめる ますらおなれや
臆するものには 悔いのみのこる
3. 血しおに染みたる なやみのみちを
十字架の御旗を かざしてすすみ
けわしきカルバリ おおしく過ぎて
あめなるみくにへ さきがけのぼらん
4. この世のいきおい みなぎりあふれ
あくまのつるぎは はむかい来とも
いかでか阻みえん ひかりのみくに
あおげや わが主は みくらにいます

聖餐曲「ノートルダムへの祈り」 L.ボエルマン

後奏曲「イエス君はいとうるわし」 L.レーン